

技術者の役割と未来

2020年11月20日
国際社会経済研究所
広崎 膨太郎

工学と技術

(*) 村上陽一郎著『工学の歴史と技術の倫理』より

工学 **創造する**
engineering = en•genius

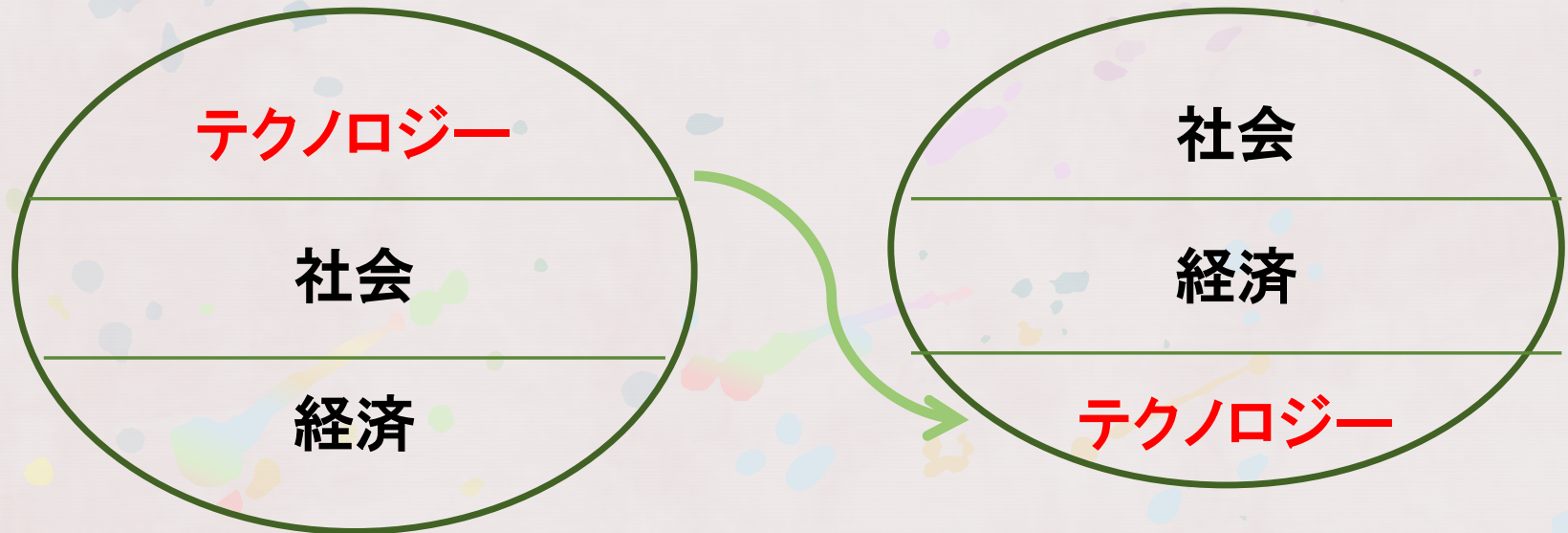
技術 **実践知**
technology = techne (arts)

『**技術、工学の本質はクライアントが存在することである**』
(**技術者 = 一般社会にクライアントを持つ職能集団**)

ヒポクラテスの誓い

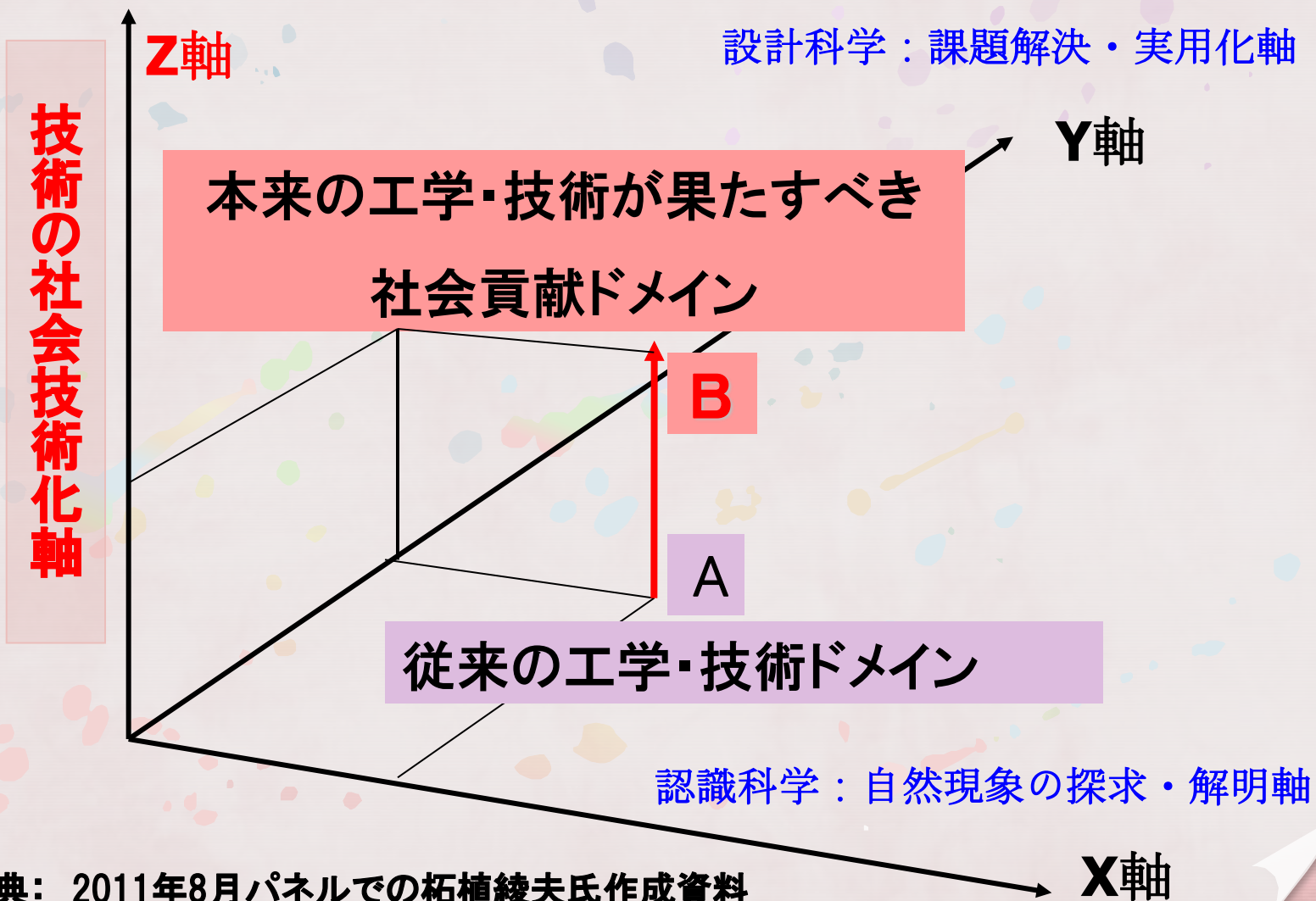
医神アポロン、アスクレピオス、……および全ての神々よ。
私の能力と判断の限りにおいて、この誓約を守ることを誓う。
この医術を教えてくれた師を実の親の如く敬い、……自身の
能力と判断の限りにおいて、患者に利すると思われる治療法
を選択し、有害と知る治療法を決して選択しない。……この
誓いを守り続ける限り、私は医術の実践を享受しつつ生き、
全ての人から尊敬されるであろう。……

テクノロジーの基底化



物、道具 → システム → サイバネティックシステム
(エネルギー革命) (知識・情報革命)

工学・技術の社会的使命の再認識



技術者は未来を創る

現在

未来

起こり得る
(might happen)

起こってもおかしくない
(could happen)

起こりそう
(likely to happen)

思い描くものに命を与えなければならない
誕生を待ちわびている未来がある
胸のざわめきを恐れてはならない
未来は確かにずっと前からあなたの中で生まれている
あとはただ誕生を待つだけだ
澄み渡る新たな時代のために (Rainer Maria Rilke)

日経研月報497号西村勇哉氏
論文(pp.36-45)より著者編集

SECI理論と実践知



次世代技術者への期待

1. 異分野技術の習得
2. リベラルアーツの素養深耕
3. イマジネーション力、デザイン力
4. 具体的課題への対応/実践力

本質の理解